

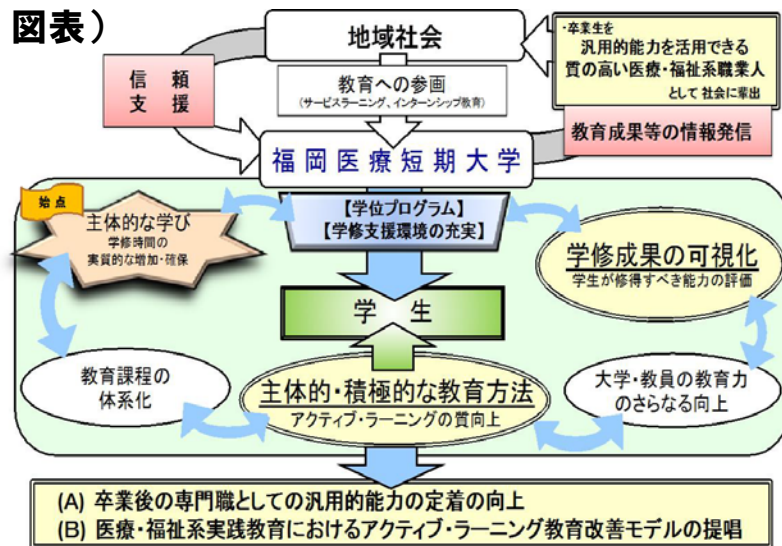
大学等名：福岡医療短期大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

取組概要 この取組は、専門教育におけるアクティブ・ラーニングの充実と汎用的能力の育成、学修成果の可視化による教育改善を推進するものです。①汎用的能力判定テスト、②学修行動等の学生アンケート調査、③産業界のニーズを反映したルーブリックを用いた学修評価、④「振り返り」学修を支援するポートフォリオの取組を通じて、初年次・インターンシップ前・インターンシップ教育における6種類のアクティブ・ラーニング教育改善モデルの提唱と、卒業後に汎用的能力を活用できる優れた人材養成を推進します。

（取組のポイント・図表）

- 大学教育において汎用的能力の育成が求められています。その中で、本学卒業生対象の卒後追跡調査において対人基礎力等の汎用的能力の定着度が低いことが明らかになりました。その課題に焦点をあてて、医療・福祉系アクティブ・ラーニングの「教育方法の改善」と「学修成果の可視化」の取組を推進していきます。
- 下記の2つを達成目標として事業を推進します。
 - (A) 卒業後の専門職としての汎用的能力の定着の向上
 - (B) 医療・福祉系アクティブ・ラーニング教育改善モデルの提唱
- 最終成果物として、他の医療・福祉系実践教育や短期大学保育学等においても共有・活用できるよう、アクティブ・ラーニング事例集を作成し、ルーブリックを活用した医療・福祉系実践教育における教育改善モデルを提唱します。



【事業の成果】

	26年度	28年度 (目標値)	30年度 (目標値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	100%	100%	100%
学生の授業外学修時間	5時間未満	7時間	14時間
卒業後の汎用的能力(計15個)の定着度が3.0未満の項目数 (卒後1年目調査:5.0満点)	4個	2個	0個

- 取組から得られる教育成果を本学の新たな人材養成機能の質的転換と抜本的強化の糧とすることにより、本学の大学改革の加速が図れます。
- 大学全体のアクティブ・ラーニング実施体制の強化とともに、学修支援環境の充実に図ることができます。